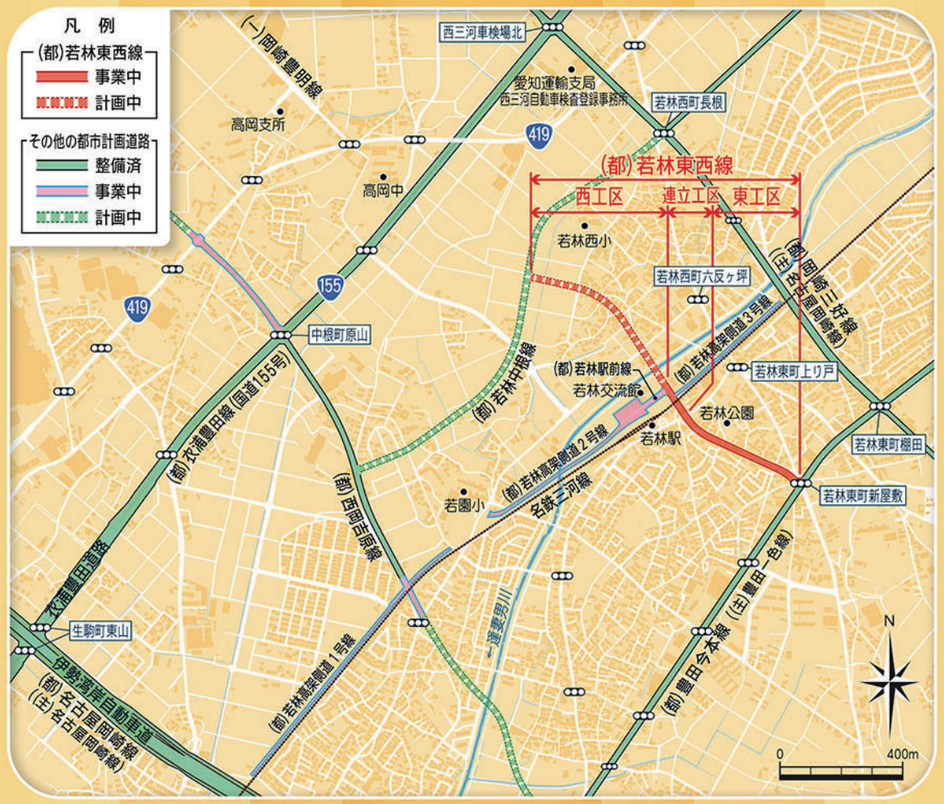


事業効果

1 道路ネットワークの形成

東西の骨格となる道路が整備されることで、地区内の交通の錯綜が解消され、交通の円滑化が実現します。

2 駅アクセス機能の向上

都市計画道路若林駅前線と周辺の都市幹線道路を結ぶことで、若林駅のアクセス性及び利便性が向上します。

3 安全性・利便性の向上

歩行者、自転車、自動車それぞれの通行空間を十分に確保することで、安全安心な道路となります。

お問い合わせ

豊田市 建設部 街路課

〒471-8501　豊田市西町3丁目60番地

電話 0565-34-6651(直通) ／ Fax 0565-35-8196

E-mail gairo@city.toyota.aichi.jp

2023年7月発行

都市計画道路

若林東西線

～連立(れんりつ)工区・東(ひがし)工区～

※若林東町新屋敷交差点付近上空より望む。

事業概要

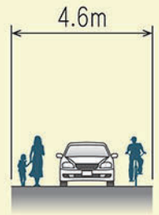
都市計画道路 若林東西線は、豊田市南部の拠点地域核である若林地区において、東西の骨格となる地区幹線道路です。また、名鉄三河線 若林駅へのアクセスを担う道路でもあります。

本路線を整備することで、周辺道路から流入する交通を若林駅前広場や近隣の都市幹線道路等へ適切に処理し、地区の交通処理上の課題や、交通安全上の課題を解決するとともに、地区内の道路ネットワークの形成、鉄道駅へのアクセス機能の向上および地域住民の安全性・利便性の向上を図ります。

※この図は、鉄道高架化後を示したイメージであり、細部は実際とは異なる可能性があります。

計画の概要

- 事業区間 ： 豊田市若林東町沖田 ～ 若林東町高根下
- 整備延長 ： 約５６０ｍ
- 幅　　員 ： 20.0ｍ
- 車 線 数 ： ２車線
- 道路規格 ： 第４種第２級
- 設計速度 ： ５０ｋｍ／ｈ

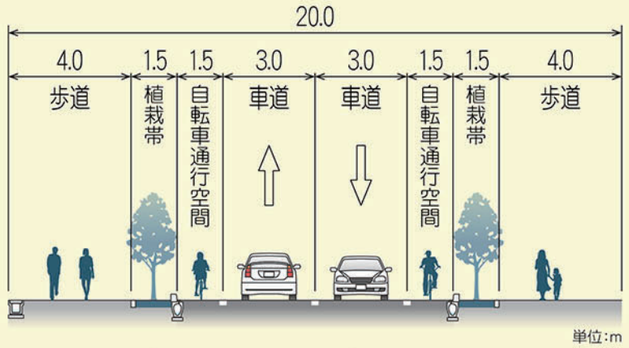


現　況　　※事業区間内の代表断面を示す。

横断計画

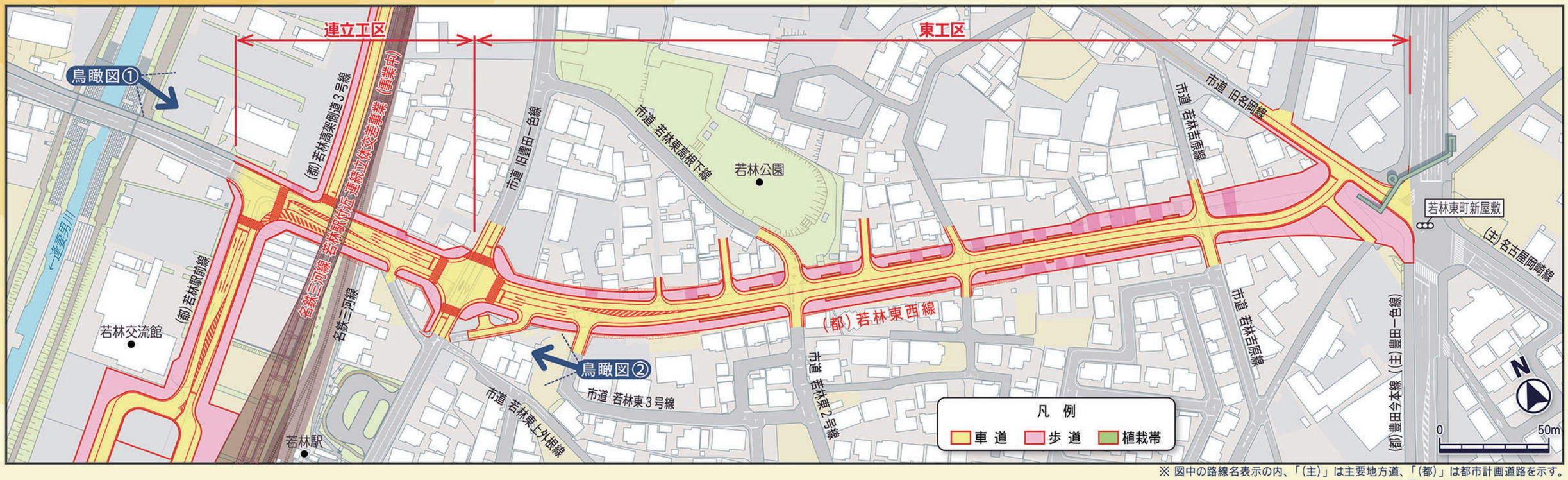
現況の道路幅員は、乗用車のすれ違いが困難な区間が存在し、円滑な交通の妨げとなるとともに、歩行者等の安全が確保できない状況となっていました。

本事業では、十分な車道幅員を確保するとともに、交差点には右折レーンを設けるなど、自動車交通の安全性の向上を図ります。また、歩道や自転車通行空間、植樹帯を設けることにより、安全で快適な道路空間を創出します。



計　画　　※ 図は一般部の標準断面を示す。

計画平面図



※ 図中の路線名表示の内、「(主)」は主要地方道、「(都)」は都市計画道路を示す。
※ 図は暫定形での整備内容を示す。